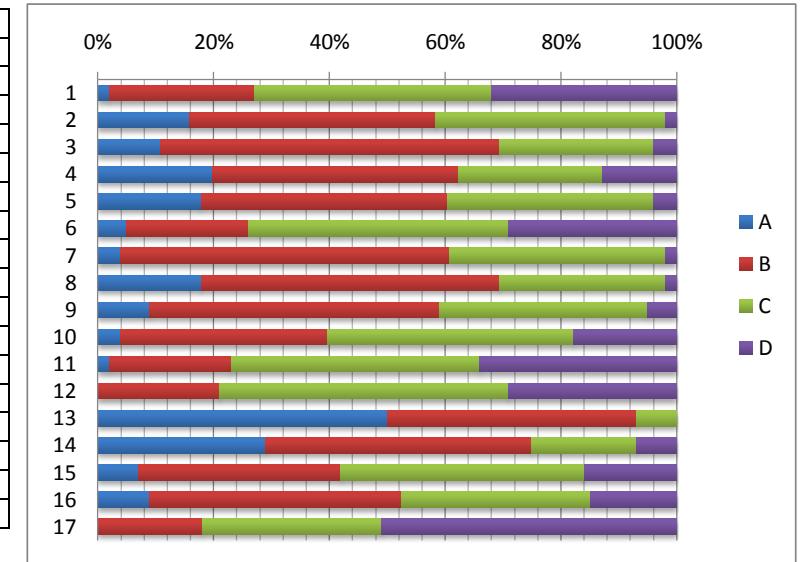


■大阪学芸中等教育学校 学校評価「アンケート」結果

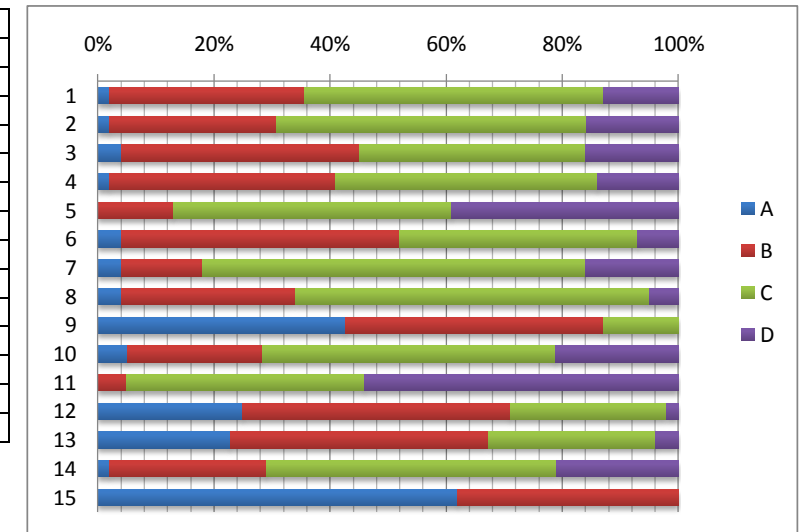
平成20年11月 実施

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

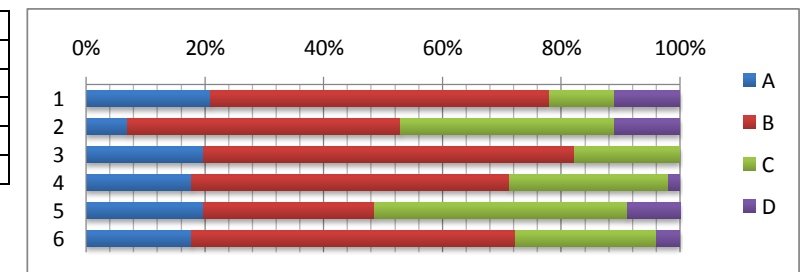
分類	評価の観点	評価項目	設問
学校運営	私学の独自性	1 建学の精神について	建学の精神が教職員、生徒、保護者など、学校関係者によく浸透している。
		2 愛校心について	在校生、卒業生は学校に誇りを持っている。
	教育課程	3 学習指導要領の対応状況	教育課程は学習指導要領に沿っている。
		4 6年を通したカリキュラム	本校独自の6年一貫のカリキュラムが組まれている。
		5 教育計画について	年間を通した教育計画を各教科別に立てている
		6 シラバスについて	シラバスは有効に活用できている。
	教職員連携	7 教員・教科間の連携状況	教員間教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。
		8 教員と事務職員の連携状況	教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。
		9 会議の有効性	職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している。
	財務関係	10 財務に関する意識	学校の経営指標と財務状況について理解している。
		11 財務状況の把握について	予算、決算の収支状況について理解している。
		12 評議員・理事会機能について	評議員会・理事会の役割や機能について理解している。
	情報公開	13 ホームページの活用状況	学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。
		14 授業公開状況	保護者などへ授業を公開している。
	危機管理	15 役割分担について	事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。
		16 危機管理対応状況	危機管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。
	開かれた学校づくり	17 地域交流について	地域や地域住民との交流できている。



分類	評価の観点	評価項目	設問
教育内容	情報教育	1 情報能力育成	生徒の情報活用能力の育成を図っている。
		2 情報モラル指導	情報の発信に伴う責任など情報のモラル面の教育に十分取り組んでいる。
	人権教育	3 研究体制	人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法を教員が研究する体制がある。
		4 教育体制	人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。
	環境教育	5 環境問題意識向上	ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育をしている。
		6 実践的態度の育成	生徒に清掃、校内美化に取り組ませている。また、施設・設備を大切にすることを育成している。
	健康・食育	7 健康・食に関する指導について	健康教育、食育などにも配慮している。
	生徒会活動	8 生徒会活動支援状況	生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。
	その他	9 読書推進	読書タイムや図書館の利用促進など読書指導に取り組んでいる。
		10 部活動	部活動は活発だ。
		11 ボランティア	ボランティア活動は活発だ。
		12 学校行事	体育祭・文化祭など学校行事は活発だ。
		13 スポーツ・芸術文化	スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている。
		14 国際理解	他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。
		15 面倒見の良さ	個別での質問対応や教科指導など、面倒見の良さを実践している。



分類	評価の観点	評価項目	設問
生徒指導・支援	生徒指導	1 指導方針の一貫性	生徒指導は学校の方針に従っている。
		2 生徒指導について	生徒の指導に組織的に対応する体制がある。
		3 家庭との連携状況	生徒指導において、家庭との連携ができている。
	生徒支援	4 学習指導について	学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。
		5 カウンセリング体制	カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。
		6 進路指導について	生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような支援体制がある。



分類	評価の観点	評価項目	設問
教員研修・資質向上	教員研修	1 教員の資質向上について	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。
		2 校内研修	効果的な校内研修計画を立案し、教職員に実施している。
		3 初任者のサポート状況	初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。
		4 校外研修	教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。
		5 研修成果の共有状況	研修、研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。

